

福井県福井市美山上味見地区における中山間地域活性化の取り組み

近藤晶・笠井利浩（福井工業大学）

Keyword： 福井、間伐材、小水力発電

【問題・目的・背景】

福井県福井市美山は福井市東部の大野市に接する位置にあり、6つの集落からなる上味見地区はその中でも最も山あいの奥まった場所にある（図1）。



図1. 上味見地区（神当部集落周辺）

上味見地区の現在の人口は213名（2019年5月時点）¹、田畑が広がる中に、規模は小さいもの大手メーカーと取引を行う繊維工場や金属加工会社が点在する。かつて南北朝時代に伊自良と名乗る豪族がこの上味見地区を治めていたとされ、現在でも伊自良温泉、伊自良祭り、伊自良の里振興協会など伊自良の名を用いた名称を盛んに用いている。この上味見地区を対象に、2009年に福井市より中山間地域活性化事業の業務委託を福井工業大学が受け上味見へのサポートを開始した。

2010年度に福井市からの委託期間が終了したものの、地域資源活用、教育的効果などの観点などから現在まで10年間にわたり学生を交えて様々な取り組みを行ってきた。本発表ではこれまでにやってきた中で3つの取り組みを紹介し、今後の展望を述べたい。

【研究方法・研究内容】

1. 小水力発電

福井県から中山間ピコ水力発電活用実証事業の委託を受け、2014年に笠井研究室が中心となって設置したもので、最大で12W程度発電する超小型の水車型発電機である（図2）。設置目的は、地域主体の地域活性化と子ども向けの環境教育などである。この水車は、なるべく身近な資材で安価かつ簡単に製作できることを目指し、自転車前輪に用いられるダイナモハブをベースに開発した。12Wと発電量は限定的であるが、照明用LEDの回路や構造を工夫することで実用的な照明を実現している。



図2. 設置したピコ発電機

2. 林業体験学習

福井県グリーンセンターが行っている「もり人づくり事業」の一環として2013年から現在まで毎年行っているもので、林業の正しい理解や間伐材の利用促進などを目的とした取り組みである。また、山林の所有者である住民からは30年近く手入れのされてこなかった山林の間伐を無償で行え、切り出した木材は買い取ってもらえるなどメリットがある。

この取組は上味見で多く使われている「伊自良」の名を用いて「伊自良木匠塾」と呼んでおり、毎年10名程度の学生が森林組合職員による指導のもと伐倒作業を行い、下ろしてきた間伐材を用いて地域に役立つものを制作する（図3）。4～5日程度の日程で行い、チェーンソーを使いながら作業を進める。



図3. 伊自良木匠塾の様子(2018年)

初年度から数年間は学生にアート作品を自由に制作させることが多かったが、期間内にアートとして十分な完成度の作品を制作することは困難であった。このことから2016年には上味見に新しくできた民宿「じゅ助」の看板製作、2017年からはスウェーデントーチ「Ijira Torch」(イジラトーチ、図4)の制作を中心とした取り組みとなっている。



図4. 完成した Ijira Torch

3. 各種祭りなどへの参加

上味見では、20年前から住民たちで企画し行われている伊自良祭りや正月飾りを燃やすどんと焼き、そばまつりなど大小様々な催事が行われている。その中でも福井県無形民俗文化財に指定されている「じじくれ祭り」は約900年続く奇祭であり、地域外からも多くの参加者が見られる。



図5. じじくれ祭り様子(2019年)

文化財に指定される前は地元住民しか参加できないとされていたが、文化財指定後は祭りの保存のため県内の学生をはじめ、県外の学生や住民の親戚などもみこしの担ぎ手に参加するなどして継続が可能になっている。

また、これらの祭りを映像として記録、編集し YouTube で公開するなど上味見地区の広報にもつなげている²⁾。

【研究・調査・分析結果】

小水力発電の取り組みは住民によるメンテナンスが不足しており、常時稼働していないのが現状であり今後の改善が求められる。

林業体験学習に関しては学生たちと制作した Ijira Torch を東京ビックサイトで行われた環境に関する展示会「エコプロ2017」「エコプロ2018」や福井の催事場で行われた「ヴィクトリアマルシェ」などで試験販売を行い、一般の方の反応を確認している。



図5. エコプロ2017での展示

祭りへの参加協力は各祭り存続のために重要なものとなっており、特にじじくれ祭りに関しては高齢化によりみこしの担ぎ手が不足しているこの地域にとって、非常に重要といえる。2017年、2019年には福井工業大学の卒業生が各年1名ずつ上味見に移住し卒業後も地域に入り込んでいることはこれらの活動の大きな成果と言える。

【考察・今後の展開】

今後の上味見への取り組みは、移住した卒業生のサポートを中心とする活動へ移行し、伊自良木匠塾の活動が卒業生の収益につながることを目的としたい。

また、上味見には野生のゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの3種が生息しており、2018年には試験的にホタルのライブ配信を行った。2018年のライブ配信の際にはホタルの発生とタイミングが合わず、十分な検証ができなかったが、2019年には高感度一眼レフカメラの導入などによって映像撮影、配信を行うことができた。今後は祭りなどの映像を含め、公開した動画へのアクセス状況の分析などを行い、取組方針の検討を行っていきたい。

【引用・参考文献】

1. 福井市, 2019年5月1日、人口統計 人口・世帯数 (町別)
2. YouTubeチャンネル Kondo Design Lab. にて公開 (https://www.youtube.com/channel/UCgY_Nqj_u7_Y1naHbJK8hCw)